

出東福祉社会 だより

発行 令和2年10月
社会福祉法人 出東福祉社会
出雲市斐川町三分市1071番地4

2020年秋号 Vol.20

幼保連携型認定こども園 出東こども園

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、今年に入ってから、様々な行事や活動を中止、又は、例年と違う形で対策をとって行っているところです。

中でも、夏祭りは、例年お家の方々や卒園生・地域の方々にもご参加いただき賑わっていました。今年も園内で、子どもたちと職員で7月7日から10日にかけて夏祭りごっことして行いました。おみこしとお囃子で初日スタート、魚釣り、ボーリング、年長児の手作りおもちゃ屋さん、かき氷屋さんなどを4日間かけてゆったりと楽しみました。また、夏には欠かせない水遊びやプール遊びも、対策をして行い、子どもたちの歓声が聞かれました。

年長児は、夕涼み会を8月21日の夕方に行い、ピザづくりや肝だめしなどを楽しみました。また、9月18日には、尾原ダムやその周辺の見学から川の源を知り、奥出雲多根自然博物館で実物の大の恐竜の骨を見たり走る速さなど詳しく聞き、学習しました。このような豊富な体験は、挑戦する意欲や友達と協力し合うことで大きな自信となっていくと思います。

今後の行事や活動も、子どもたちが、自ら考え行動しコロナで大変ではあるが生きる力となるよう、みんなの笑顔で乗り越えたいと思います。



園舎を増築 来年2月完成

園児のより良い環境づくりとして、園舎の増築、改修工事を行います。来年2月末完成予定です。いろいろご迷惑をおかけしますが、保護者の皆様・地域の皆様よろしくお願ひいたします。なお、7社による指名競争入札により俵フクダ様が施工されます。



幼保連携型認定こども園
出東こども園



出東デイサービスセンター



グループホーム 出東ララ

地域貢献プロジェクト実施

この度、社会福祉法人出東福祉社会では、地域貢献プロジェクト「つながる輪 出東」を立ち上げました。出東地域に在住の高齢者の方や支援されている家族の方を対象に、介護福祉士や看護師が地域やご家庭に出向き、助言や支援を行うことで安定した在宅生活をおくってもらうことを目的としています。

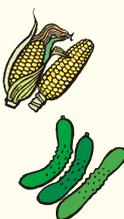
7月12日(日)には、グループホーム出東ララの職員が出東沖洲北島公民館に出向き北島自治会の老人会20名の皆様に「健康についてのおはなし」をいたしました。新型コロナウイルス感染症予防の自粛による生活の変化と健康への影響、また、新型コロナウイルスに負けない心と身体づくりの内容でお話ししました。途中で、補水液や生姜湯で水分補給をしたり、歌をうたったりしながら進めていきました。参加された高齢者の皆様は、真剣に聞いたり質問されたりして、新型コロナウイルス感染症防止の対策を共に考える時間となりました。

出東地域の福祉施設として、少しでも地域住民の皆様のお力になればと思っておりますので、気軽にお声をかけてください。



グループホーム 出東ララ

「ララ畑」で野菜収穫



新型コロナウイルス感染症防止対策を日々続けていく中で、利用者様が楽しめる生活を送ってもらう一つとして、今年も「ララ畑」で、沢山の夏野菜を育て収穫をしました。

スイカをはじめ、トウモロコシ・トマト・キュウリ・ゴーヤ等、立派な野菜を収穫できました。毎食の献立やお茶の時に食され、満面の笑みで過ごされています。





豊かな自然に囲まれた出東デイサービスセンターでは、日常生活の支援のほか、季節の行事やリハビリ体操、レクリエーションなどを行っています。手足を意識した運動やゲームを取り入れて、楽しみながら筋力維持につなげたり、クッキングや野菜の収穫などをしたり、皆さんと一緒に楽しんでいただけるよう工夫しています。今年の夏は、皆さんと植えた茄子やトマト、オクラなどを収穫し、おいしく調理し昼食に召し上がって頂きました。また、浴後の水分補給には、デイでへた取りして作った梅ジュースが好評でした。

出東デイの特色のひとつに、園児との交流があります。新型コロナウイルス感染症で少し休憩していましたが、治まれば、また、隣のこども園からかわいい訪問者が訪れ、皆さんを和ませてくれることでしょう。一人ひとりに合った楽しさが、満載の出東デイサービスセンターです。



デイサービスセンターの一日

8:45 送迎

車いすの方でも乗り降りしやすい福祉車両で送迎します。

9:30 ティータイム 健康チェック

施設到着後は、お茶を飲みながら、看護師が血圧、脈拍、体温などの測定で健康をチェックし、体調の変化もいち早く気づけます。

10:10 レクリエーション 体操 入浴

健康チェック後の入浴は、体調に合わせた浴槽（大きな浴槽・車いす対応浴槽・リフト付き浴槽）で、身体も心もリラックスでき、皆さまの楽しみの一つです。同時に、身体移動や服の脱ぎ着等で、自然と生活機能訓練の場にもなっています。

12:00 口腔体操 昼食 休養

昼食前には、飲み込みの機能の維持・向上のために、欠かさず口腔体操を行います。食事は、当施設で毎日手作りをし、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいうちに召し上がって頂きます。個々に合わせた調理法で皆さんに好評です。

14:30 レクリエーション 趣味活動

午前と午後のレクリエーションは、利用者の皆さまの意見を取り入れながらの頭や身体の体操、経験を生かして野菜作りや生け花などの創作活動、また、ボランティア団体の訪問もあり、様々な活動を行います。

15:40 ティータイム

帰る前にはティータイム。一日過ごした皆さまと会話も弾みます。

16:40 送迎

帰りは、安全運転でご自宅までお送りいたします。



ご寄附ありがとうございました

【香典返し】

- 福田 一則様 (黒目)
- 勝部 隆司様 (三分市)
- 飯塚 明輝様 (坂田)
- 植田 博幸様 (坂田)
- 内田 良治様 (坂田)

【特別ご寄附】

- (株)コスモ建設
コンサルタント様
 - 島根県養鶏協会様
- 有効に活用させていただきます。

コロナウイルス感染症対策用品を各種団体、各企業、複数の方よりいただきました。

地域の皆さまに温かく見守っていただき大変感謝しております。ありがとうございました。

編集後記

〇：コロナ騒ぎ、いつになったら収束するのでしょうか？早くピリオドを打ってほしいものです。そんな中で、それぞれの施設では沈滞ムードを吹き飛ばせとばかり、様々な楽しみを模索中。当福祉会では、コロナ対策を最優先に取り組んでいます。ご利用者の皆さま、ご家族様に安心して利用をお勧めします。

最後に、各種団体、企業の皆さま方、心温まるご寄附ありがとうございました。(裕)

